

啓発ゲート設置による効果検証の実施について

観光スポーツ部山岳高原観光課

1 目的

山岳遭難が多発する夏山シーズンに、北アルプスの主要登山口において、登山者が安全に登山するために必要な準備ができていることの確認を行う「啓発ゲート」を設置し、山岳遭難防止や登山マナーの向上への効果を検証することにより、今後の山岳遭難防止対策の検討につなげる。

2 事業概要

(1) 事業主体

長野県山岳遭難防止対策協会

(2) 実施内容

啓発ゲートに2～4名程度のスタッフを配置し、「登山準備・ルール確認票」を用い、以下の内容を確認する。Webによる事前申請も可能とする。

確認項目	内容
登山計画書の提出	登山計画書の提出がない者への作成・提出の促進
登山装備の準備	最低限必要な装備を準備していない者へ入山自粛の呼びかけ
登山経験等の確認	登山経験、体調、体力、技術力等を確認し、無理な登山の自粛等の呼び掛け
宿泊先の準備	山小屋の宿泊予約又はテントの携行の確認
山岳保険への加入	保険の加入確認、捜索・救助には多額の費用が発生する場合があることの説明
登山ルールの確認	山域の利用ルール、自己責任の原則の確認、署名
入山時間	登山ルート毎に決められた時間以降の入山自粛の呼びかけ

(3) 実施場所（対象登山者）

- ① 北アルプス南部 横尾登山口（槍ヶ岳、穂高岳、蝶ヶ岳方面に向かう登山者）
- ② 北アルプス北部 柵池自然園登山口（白馬乗鞍岳、白馬岳、朝日岳方面に向かう登山者）

(4) 設置期間

令和8年7月18日（土）～8月11日（火・祝）の25日間 ※例年遭難者が多い時期を選定

3 検証内容

- ・啓発ゲート設置による山岳遭難防止や登山者の意識、マナー改善への効果
- ・啓発ゲート設置・運営における課題等
（遭難者数の増減、山小屋、救助関係者、ゲートのスタッフへのアンケート等により確認）

4 上記設置期間以外の取組

- (1) 啓発ゲート未設置期間においても、「登山準備・登山ルート確認票」を参考に、登山者自身による確認の徹底を促進する。
- (2) 上記のほか、横尾登山口では、令和8年9月上旬から10月下旬まで、環境省による登山ゲートの設置が予定されている。

5 今後のスケジュール（予定）

令和8年9月 第3回山岳遭難防止対策検討会への検証結果の報告